

議長あいさつ・2016年の動き	2
12月定例会	3
各委員会の報告	4
組合議会	5
一般質問	6~9
全員協議会	9
各委員会 視察研修報告	10
原子力災害時避難場所を視察（大野市）	11
敦賀美浜地域開発協議会 視察研修	11
美浜 若狭町議会振興協議会	12
球技大会・レガッタ・編集後記	12

# 議会 だより

みはま

No.24

福井県美浜町議会

# 活気ある 健やかで、ぬくもりのある町へ

美浜町議会議長 藤本 悟

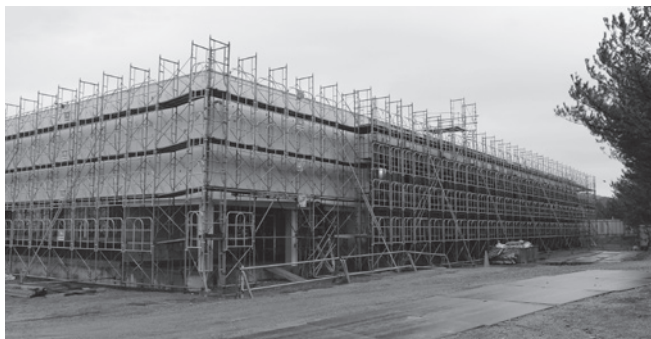
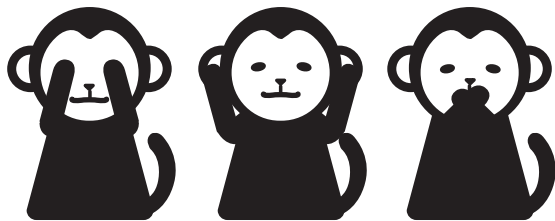


新年明けましておめでとうございます。  
町民の皆様には、輝かしい新春をお迎えに  
なられたこと、心よりお慶び申し上げます。

町民の皆様には、日頃より議会運営に対しまして、格別のご理解とご協力を賜っておりますことに心から厚くお礼申し上げます。  
「開かれた議会」を目指す取り組みとして、平成25年から「議会と語ろう会」を実施してまいりましたが、昨年で全集落での開催が実現いたしました。町民の皆様から頂いた貴重なご意見は、今後の議会活動に役立てて参ります。本年の「議会と語ろう会」は、新たな活動方法を考えながら意見交換の場として更なる定着を図っていきたいと考えております。

原子力発電所を始めとするエネルギー関係、定住環境の整備、地域経済を支える人材の確保及び育成、地域産業の振興等、地方創生のため、行政と時には競い合い、時には協力し合いながら「みんなで創る 活気ある 健やかでぬくもりのある町」を築くため「責任ある議会」を目指して行動してまいります。

本年も町議会に対し変わらぬご支援、ご指導を賜りますようお願い申し上げます、新年のごあいさつとさせていただきます。



建設中の多目的屋内運動場



建設中の美浜町エネルギー環境教育体験施設

## ～ 2016年の動き ～

今年が美浜町の将来を架けた第5次美浜町総合振興計画がスタートする年です。  
多目的屋内運動場も完成し、国体の準備も本格化します。



美浜東『美し野』ニュータウン



若狭美浜インター産業団地

# 12月定例会(12月4日~18日)

12月定例会は、4日から18日までの15日間の日程で開催されました。一般会計の補正予算とマイナンバー制度に関する条例の制定等8議案と請願1件が上程され、全案件と請願も可決されました。

## 平成27年度 一般会計12月補正予算概要

予算規模	補正予算額	5,203万円	補正後予算総額	92億6,298万円
(参考) 前年同期	補正予算額	7,410万円	補正後予算総額	69億4,812万円

◎ 歳出予算の内訳(主要事項)

(単位:万円)

款	主要事項	金額	事業概要等
総務費	町勢要覧作成事業	52	町勢要覧作成業務委託料 他
	美浜ふるさと納税PR事業(写真1)	340	ふるさと納税寄附者謝礼 ふるさと納税一括代行サービス委託料 他
民生費	保育備品購入等 (子育てにやさしい環境整備対策)	277	保育園内での感染予防のための高度清浄加湿装置購入費、 広域保育負担金
	子育て支援センター運営事業 (子育てにやさしい環境整備対策)	56	子育て支援センター内での感染予防のための 高度清浄加湿装置購入費
	介護保険事業特別会計繰出金	14	介護保険事業特別会計への繰出金
農林水産費	有害獣侵入防止柵設置事業	56	町内9集落(和田区、小三ヶ区、菅浜区、丹生区 他5集落)に 対する有害獣侵入防止柵設置の補助(1/3補助)
	機構集積協力金交付事業	3,342	地域集積協力金(興道寺/66.17ha) 経営転換協力金(興道寺/30戸)
	県営漁港改良事業	117	県営漁港改良工事に係る負担金 早瀬漁港:既設照明のLED化(4基) 日向漁港:航路標識灯のLED化(4基)
教育費	総合運動公園改修事業(写真2)	626	運動場改修実施設計 他
	多目的屋内運動場整備事業	595	屋外便所改築工事費 他

### ※おわびと訂正

〈議会だより23号4ページ〉

平成26年度特別会計別決算状況

● 介護保険事業特別会計(介護保険事業勘定)

歳入歳出差引額

① 11789万円

② 1179万円

● 合計

歳入歳出差引額

① 18246万円

② 7636万円



総合運動公園(写真2)



ふるさと納税チラシ(写真1)

# 各委員会の報告

予算決算  
常任委員会

付託案件3件

●平成27年度美浜町一般会計補正予算  
(第3号)

(総務費)

**問** 美浜ふるさと納税PR事業の中に、お礼品配送用ダンボール箱製作委託料とあるが、これはどのようなものか。

**答** お礼品送付用のもので基本的には既製品のものに、美浜町から来たものとわかるように印刷をした。図案等は検討して美浜町のPRも行いたい。

(農林水産業費)

**問** 機構集積協力金交付事業で小規模農家が中間管理機構に経営転換する場合は、地主が耕作する人を探さなければならぬ。しかし、耕作者がいない場合が多い。小規模農家への手立て支援は無いのか。

**答** 小規模農家がリタイヤしたい時のマッチングは事実上、農家と

町が行うことが多い。現在、小さな農家でもやって行けるようアクションプランを示し、町では農家の数を減らさないように取り組んでいる。

(教育費)

**問** 多目的屋内運動場の整備事業費の工事請負費について、現在ほかにトイレがあるが、それを壊して新しいトイレを建てるのか。

**答** ゲートボール協会と協議して、現在あるトイレは壊して、同じ場所で新たにユニット形式のものを4基設置する予定である。

●平成27年度美浜町国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)

●平成27年度美浜町介護保険事業特別会計補正予算(第2号)

以上の審査を終了し、3議案を承認しました。(崎元記)

総務文教  
常任委員会

付託案件3件  
請願1件

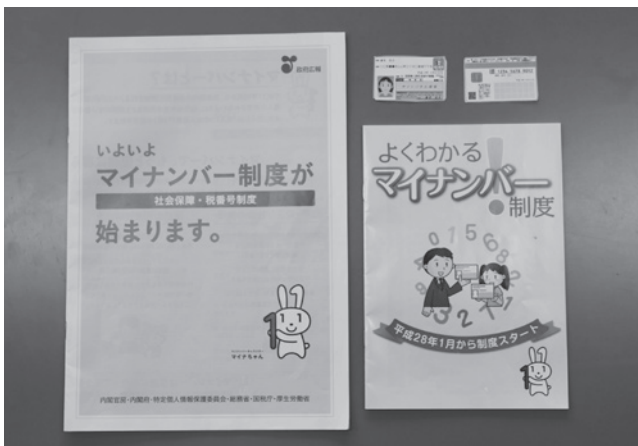
●美浜町行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号の利用等に

関する法律に基づく個人番号の利用に関する条例の制定について

**問** マイナンバー制度の導入で、個人カードの申請も必要になるのか。

**答** 通知カードは、税や社会保障、災害対策分野の公平な社会の実現や行政の効率化と国民の利便性向上に使われるが、今後サービスが普及してくると個人カードが必要になってくると考える。

マイナンバー制度が導入



●美浜町税条例及び美浜町税条例の一部を改正する条例の制定について

●美浜町歴史文化館展示用品等備品の購入契約について

以上の審査を終了し、3議案を承認しました。

●請願第3号「災害ボランティア割引制度に関する意見書提出を求める請願」は全員賛成で採択しました。(辻井記)

産業厚生  
常任委員会

付託案件1件

●美浜町介護保険条例の一部を改正する条例の制定について

マイナンバー制度は行政手続きにおける特定の個人を識別する為、個人番号を利用するものです。介護保険料は個人の所得、収入に応じて階層別に決められています。今まで、県外の固定資産等不明瞭な部分があり正確に申請され、公平性が向上します。介護保険の申請においては名前と番号を記入する事になります。

以上の審査を終了し、1議案を承認しました。(浜野記)

# 組 合 議 会

## 【敦賀美方消防組合議会】

12月25日、平成27年一般会計補正予算案(第2号)及び、平成26年度決算認定等4議案が可決されました。

昨年の本組合管内における災害の発生状況は、火災は17件で昨年と比べ9件減少しており、主な内訳は、火災が9件、その他火災が5件、車両火災が2件となっております。原因別出火件数では、「たばこ」「電気」「たき火」が上位を占めており、これらの火災で2名の方が負傷されております。

救急出動件数は、3千388件で、一昨年と比べ大幅に増加しております。組合発足以来の最多件数を更新しました。救急出動は、高齢化社会の進展に伴い全国的に増加しており、管内においても同様な状況で、舞鶴若狭自動車道の開通による嶺南地域の交流人口の増加も一因と考えられます。今後も交流人口の増加が予想

されるため、救急救命体制の強化が望まれます。  
(兵庫記)



美浜消防署

## 【敦賀三方環境衛生組合議会】

美方汚泥再生処理センター(仮称)28年1月から建設工事始まる

数年前から取り組んできた「美方し尿処理場」の更新計画については、25年度に環境省に提出した「美浜・

三方地区循環型社会形成推進地域計画」が承認されたことにより移転場所も決まり計画実施出来るようになりました。  
施設の場所は、松原地区で28年度中に完成予定です。  
(山口記)



現在の美方し尿処理場

## 【公立小浜病院組合議会】

公立小浜病院組合議会が、11月27日に開会し、平成27年度公立小浜病院組合病院事業会計補正予算について審議し、12月24日可決し閉会しました。

レイクヒルズ美方病院事業につい

ては、患者数の減少に伴い、病院収益を6千943万円減額し、医業費用も1千850万円減額しました。  
また、議員の研修として、11月10日に、レイクヒルズ美方病院を視察後、小浜病院にて経営アドバイザーから小浜病院の現状分析と今後やるべきことについて説明を受けました。最終日には、小浜病院内の施設や機器など医療の現場を見ることにより病院の状況を再認識しました。  
今後、人口が減少し高齢化社会となっていく現状を踏まえ、医師不足を解消し、国の政策を注視しながら経営を安定させ、地域医療に貢献していただきたい。  
(野瀬記)



レイクヒルズ美方病院

# 質 問

12月定例会では7人の議員が一般質問に立ち、町行政の有り方について、問いたしました。



兵庫 賢一 議員

## 国道の歩道整備・交差点改良事業の進捗状況と安全対策について

**問** 長い間中断し、かなり遅れているが進捗状況は。

**町長** 南側は新庄河原市線から耳川を越えての付近まで用地買収がほぼ完了。事業用地の取得率河原市区内86.26%、郷市区内11.73%。JA職員駐車場から耳川迄は、平成28年2月から工事請負契約を締結、着工予定。

**問** 町道駅前線の整備計画、役場迄の延伸の進捗状況は。

**土木課長** 美浜駅から国道の90mが都市計画に決定されており、国道からふるさと農道迄の間640mは延伸を目指す計画、平成31年度から事業を開始する計画。

**問** 県道松屋河原市線と町道河原市和田線を繋ぐ道路整備の進捗状況は。

**土木課長** 都市計画道路河原市笹田線は、ルート等の見直しを行なっており、地権者全員のご理解を得た。都市計画審議会に諮り、県道新設事業として実施できるよう県と協議を進めたい。この他に、JA交差点付近の危険な現状と安全対策について、質問・要望を行ないました。

## 町のぎざぎざづくりと地場産業の育成について

**問** 地場産品の販路拡大が進んでいるが、地場産業の脆弱さが目立つ。育成を如何考えているか。伝統的な郷土料理を、町を挙げて売り込む取り組みは。次世代への食文化の伝承が図れ、高齢者の活躍の場も出来、世代間の交流もできる。食材も売れば産業の活性化・育成に繋がる。

**町長** 今、アンテナショップ等もふくめ、道の駅構想を練っている。東京に美浜店ができ、脚光も浴びてきた。外にも開拓、美浜店以外の居酒屋の方々に美浜へ研修に来て頂いている。食材を提供している生産者の組織も立ち上がった。基本計画において園芸導入の推進を計画し、現在アクシヨンプランを作成中、園芸作物の拡大に対応していきたい。これら生産者の自主的な取組などにも協力し、緊急的課題として受け止め対応して行く。町内の旅館では、郷土料理の提供に努め、へしこ製販売業者で、団体を設立する予定もある。観光発展に努めたい。

## 市民農園は創れないか

**問** 耕作放棄地や休耕田対策に、「市民農園」の類のシステム創りは。農地の保全・有効活用、町民の楽しみ・交流の場創り、地場産品の増産、都会から人を呼び込むメニューにもなり、にぎわいづくりに役立つが。

**町長** 町の農業基本計画でも、非農家の方に農業にいきなりしんでもらう、高齢者の生きがいや健康づくり、町内外の住民の交流を促進する農園開設を掲げている。担い手育成のためにも重要。導入は農林水産課で既に調査に入り、効果が広く及ぶと期待、展開したい。



浜野 健治 議員

## 三方五湖中心の観光振興は大切

**問** 過去10年間、交流人口年間目標110万人の未達理由は何か

**町長** 四季滞在型の観光を計画し、交流人口増を計画したが、レジャーの多様化をはじめ、リーマンショック、東日本大震災等の景気の後退が大きく響いたと考える。

**問** 美浜町は今後も三方五湖を中心に誘客をしながら観光客の呼び込み方工夫が無く、観光に来る人をもてなす気持ちがかかっていないのではないか。

**町長** 三方五湖は大切な観光の目玉である。レインボーラインの道路の眺望や駐車場の整備は大切であるし、パークセンターの遊覧船も更新の必要がある。補助制度を検討している。

**商観課長** 三方五湖ゾーンとして、頂上公園の整備、ケーブルカーの更新、駐車場での各種イベント等ニーズに合った観光振興を考えて行きたい。眺望ポイントの灌木の伐採については文化庁と検討したい。

## 恒例のイベントを増やし、固定的交流人口の増加を

**問** 交流人口には、ボート大会、マラソン、花火等、恒例のイベントの様に開催すれば一定の交流が計れる固定的な流入と、気候や、景気に影響される変動的な流入がある。固定的交流人口を増やすには国体や、新幹線の延長をにらんだ対策が必要と考えるが。

**町長** 交流人口135万人達成の為、美浜町を3つのゾーンに分けて固定的な交流人口増に繋げたい。更に、嶺南6市町の広域的な観光誘客の増加を計りたい。

**商観課長** 交流人口及び滞在型観光が増加しても、旅館、民宿の宿泊効率を上げて対応して行きたい。

**問** ロボット教室のエネルギー環境教育施設での取り組みと、国内のロボット大会を美浜町の顔として、美浜に誘致したらどうか。

**町長** ロボット教室の開催はいいことだと考える。

**企画課長** エネルギー環境教育施設にはその計画が無いが、レスキュー施設の一般への開放等と共に検討する。

## 水晶浜を活用した大型イベントの開催を

**問** 半島西海岸の活性化の為に、シルバーウィークの連休に水晶浜での大きなイベントと年間を通じて美浜の写真展覧会等を開催すべきと考える。

**町長** わんぱくフェア in 水晶浜、写真展等の提案を受けたが、美浜町3つの観光振興案の中で案をまとめて頂きたい。

質問、返答については質問者の  
文責で掲載しております。



野瀬 雅己 議員

## がんばる美浜人応援事業について

**問** がんばる美浜人応援事業の目的は何か。

**町長** ふるさと納税の基金を使って創設した。地域で活動、活躍する人口の増加を図っていく、地域の課題解決に自主的、主体的に取り組む事業を支援していくことで地域活動を促進し、町を活気づかせるのが目的です。

**問** 現在の応募の状況はどうか。

**企画政策課長** 3件の応募と5件の問い合わせがある。

**問** 毎年行政に対し各区から要望が出されているが、課題や目指しているところを総合的に踏まえた区としての5年間ぐらいのビジョンづくりを奨励してはどうか。そういうものがあれば、毎年要望を出さなくても計画性を持って町もその手当ができる。ただ各集落でビジョンをつくるというのは大変ですから、補助だけではなくてアドバイスするような人的支援も含めてやってもらいたい。そしてこれからもがんばる美浜人を応援し続けてほしいと思う。

**町長** 人的支援事業も検討委員会を考えている。ハートフル対話の形をかえていくというのは必要かなと考えている。中間支援組織の設置、そういった仕組みを構築できないか検討を進めている。

## 地域医療における レイクヒルズ美方病院について

**問** レイクヒルズ美方病院について、町民の命を守るということ、非常に大事な施設だと思う。しかし、国の医療制度の改革で医療報酬が下がれば経営も苦しくなる。地方の医療が崩壊するのではないかと考えるので、今後レイクヒルズ美方病院が進む方向を、リハビリテーション介護施設も含めてどういうふうに関後改革されるのか。

**町長** 療養病床58床は、ほぼ95%を超える稼働率で、高齢者で長期療養の患者が安定して療養できる地元住民のための病院として役割を果たしている。4月から介護保険の要支援1、2の軽度の認定者を対象に、通所リハビリテーションを開始し、7月には訪問リハビリテーションを開始した。改革については、若狭、美浜の両町担当者、病院の職員、院長も入って検討している。大幅な思い切った改革というのが必要になってくると考えている。十分町の負担の分も考えて検討していく必要がある、美浜町の考え方も述べさせていただいている。



梅津 隆久 議員

## 農業の活性化対策について

**問** 町が進めようとしている将来の農業活性化対策について町長の考えを問う。

**町長** 基本理念である、生きがい作り、村作り農業の実現と農業の持続的な発展に貢献する強い農業、儲ける農業であると考えている。機械共同利用組織の立ち上げ、小グループへの機械購入、新規就農者の受け入れ体制の整備と支援であると考えている。園芸部門をはじめとする農業経営の複合化、6次化産業などによる多角経営化と推進方策を問う。

**農林水産課長** レントハウス、小型ハウスの整備支援、不使用ハウス等の整備して行きたい。また、不採算農地の耕作、維持管理等の支援と農業サポートセンターの設置を考えている。畜産業の規模拡大への支援、市民農園の研究と設置等も考えている。

**問** 戦略の一つである農業サポートセンターの創設と運営の進捗状況を問う。

**農林水産課長** 各集落、各農家に対する農家総合相談窓口であり基本計画に基づくアドバイス、戦略的な活動をして頂くのが主な目的である。平成28年4月より農業委員会制度が変わると言われているが町の動きについて問う。

**町長** 公選制から任命制になり、首長が議会の同意を得て決めることになる。今回の改正で農業委員会の役割が農地等利用の最適化の推進と耕作放棄地の発生防止体制の強化と考えられる。小規模農家、兼業農家への配慮が手薄になる可能性に怠らない様、配慮が必要と考える。

**問** 全国で農業人口が5年間で51万人減ると言われているが本県では5038人減となり平均年齢も70.2歳の高齢者となるが将来の我が町の後継者育成の方向性を問う。

**町長** 日向の大敷網組合に7名の新規就業者が入ったことで活性化出来、非常に大きな成果を上げています。農業についても新規就業者を育てていきたい。当町は70.9歳と言う高い数字になっている。営農組織や集落の中で研修生を受け入れ、地域に根づいた新規就農者の育成に取り組むことが必要と考える。

**農林水産課長** 果を上げています。農業についても新規就業者を育てていきたい。当町は70.9歳と言う高い数字になっている。営農組織や集落の中で研修生を受け入れ、地域に根づいた新規就農者の育成に取り組むことが必要と考える。

## 原子力政策について

**問** 美浜発電所3号機の再稼働に対する地元了解支援策等について町長の考えを問う。

**町長** エネルギー事情や地球環境問題から将来においても原子力は必要であると考える。町としても広報紙で発電所の状況等をお知らせすると共に必要に応じてMMネットによる独自番組を放映し町民への理解を深めている。今後とも議会や町の原子力環境安全監視委員会等において説明して行きたい。また、事業者に対しては住民への説明を行う様に申し入れもした。審査に際して原子力規制委員会へ期限内に審査完了させるべく審査体制の充実強化と審査結果等を町民に分かり易く説明して頂く様、お願いを強くした。再稼働の支援策としては特別なことは考えていないが発電所の安全対策を出来るだけ見て頂く様、区長、学校の先生方にもお願いしている。

## 学校教室について

**問** 学校現場における児童・生徒のいじめ問題防止策への取り組みについて問う。

**教育課長** 県のいじめ防止基本方針に基づき各々の小中学校で独自の方針を定め取り組んでいる。また、校内にいじめ対策委員会を設置し対応している。意地悪であったり、仲間外れであったり軽微なものとして報告は受けているが解決している。民生児童委員さんと学校との連携協力も頂き、より一層防止に努めてまいりたい。

★その他に、次の項目も一般質問しました。

## TPP 関連対策について

# 質 問

12月定例会では7人の議員が一般質問に立ち、町行政の有り方について、問いたしました。



河本 猛 議員

## 懇親会等による飲食について

**問** 「わかさ・みはま 住み良い町をつくる会」という団体から、懇親会でコンパニオン付きの飲食の席が持たれたと指摘されている。行政が事務局となり、経理をしている協議会や委員会、広域事務組合などで懇親会や視察、研修を開催した場合にコンパニオンを入れて飲食の席が持たれていないか伺う。

**町長** 私も数多くの懇親会に出させていたが、そこに給仕が入っている場合も多々ある。コンパニオンと言われたが、給仕は必要な場合も多いと思う。ただし、その費用については、出席者の皆様から負担いただいている。

**問** 給仕というと、食事の席にいて世話をしてくれる人であり、これなら事務局でも自分たちでもできる範囲である。給仕に酌をしてもらったり、酌をさせたりするのはコンパニオンだと思ふ。給仕の委託というのは「コンパニオン派遣業」、いわゆる接待業務受託営業を行っている業者に委託しているのではないか。

**総務課長** コンパニオンというと、どうしても幅広く捉えがちである。食事等でそばにいて給仕する方については、懇親会等でも入れる場合がある。現状は必要に応じてそういったところに給仕をお願いしているところである。

**問** 公務後に行われる懇親会で女性に酌をさせて宴会になっているようでは住民の理解は得られない。ある住民の方は、「行政にかかわる人がお酒を飲んで宴会をするために私たちは高い税金を払っているんじゃない」、「コンパニオンを呼んで宴会しているような偉い人にはギリギリの生活をしている私たちのことは一生わからないうね」と非常に怒っていた。住民は高過ぎる税金や不安定雇用、低過ぎる労働賃金に苦しんでいる状況にあり、住民が怒るのも当然だ。今後、コンパニオンを入れるような懇親会はやめるべきだと思うが、どう思われるか。

**町長** 誰か職員を連れていくとか、自分たちで給仕を行うのでは懇親の場を保てないことも多いと思う。懇親の場を持つというのは非常に重要であり、その場に応じて給仕に入ってもらふ事もある。総合的に勘案してやっていく必要があると思っている。

★その他に、次の項目も一般質問しました。

原発事故や複合災害で孤立する可能性のある集落について

「もんじゅ」日本原子力研究開発機構について



辻井 雅之 議員

## 若者の支援について

**問** 高齢者や幼児への支援体制はよく目に付くが、若者への支援が見えにくい。今後の地方創生には若者のパワーが必要不可欠である。美浜町ではどのような若者支援を行っているか。

**町長** 高齢者や子育て支援を含め福祉関係の推進を図ってきた。少子化対策としての取組みは、若者への支援の一貫でもある。具体的には、中学校までの医療費の無料化や小浜線の通学支援、奨学金制度、また成人式での補助などがある。若者の要望としての運動公園の充実やスポーツの振興は、今に繋がっている。若者の起業についても今年度から支援している。

## 若者の結婚、定住について

**問** 人口減少問題にも関わる若者の結婚と定住についてどのような

対策を講じているか。

**町長** 美浜創生総合戦略に基づき将来の具体的な数字の実現に向け取り組みなければならないのが人口減少対策である。4つの基本目標の中には若者の結婚、出産、子育ても含まれており、中・高校生の中から故郷と家族を愛する教育も行っている。産業・住宅団地の整備で、若者の働く場、定住できる魅力ある環境の町づくりを進めていきたい。福祉課の方でも昨年に引き続き若者の出会いの場も設けて結婚のサポートや支援も行っていく。

## 10年を振り返っての自己評価は

**問** 今年度で第4次美浜町総合振興計画が終了する。この10年を振り返って見て町長は自己評価を何点と見るか。

**町長** 年度末で第4次総合振興計画は最後を向かえるので、全体の評価はまだしていない。平成22年の中間点に評価した数字では53.4点と評価点が出ている。多くの施策に取り組み、いよいよ最終段階を向かえるが、第5次総合振興計画に結び付けることも多くあるので、良い評価点が出るよう職員ともども任務を全うして行きたい。



質問、返答については質問者の  
文責で掲載しております。



川畑 忠之 議員

## 人口減少に対する現状と今後の 取り組みについて

○地方消滅について

**問** 昨年全国の多くの町村が、人口減少が起きて「地方消滅シヨック」に見舞われた。美浜町においても、何もしなかったら約1万人の人口が2040年には約7千人程度に落ち込むと推測されているが、「地方消滅シヨック」とは、どういう事態になるのか。

**町長** 人口減少が進んでくると、地域が荒廃をして、田んぼが守れない、地域のいろんな施設が守れない、除雪もできない、傷んだ道路も直せないという限界になり、空き家が出てくる。荒廃したときに人々が力を合わせながら住んでいた地域に住むことが限界となる。そして、伝統文化の伝承、従来の集落自治組織体制が維持できなくなり消滅することになると思っている。

○地方創生に対する取り組みについて

**問** 人口減少により、国では「まち・ひと・しごと創生」が動きだし「長期ビジョン」及び「総合戦略」が策定された。町では「人口減少対策プロジェクトチーム」が設置され、美浜創生総合戦略会議が行われ「美浜創生人口ビジョン」及び「美浜創生総合戦略」が計画されているが、人口減少を止めるのに、目指す

ものはどのような施策なのか。

**町長** 美浜町創生総合戦略として、具体的に4つの基本目標をまとめており、1番目は、美浜を生かす産業振興と仕事の創出。2番目は、美浜の希望をつなぐ人の流れを構築。3番目は、美浜の未来を担う若い世代の結婚と出産、子育ての支援。4番目は、美浜を育てる地域づくり、地域間連携と安心な暮らしづくりとして定め、それぞれの施策を今後展開して行きたい。

## コミュニティバスの 今後の方針について

○運行運賃の減額・変更について

**問** 美浜町においては、各施設を使うときに高齢者の割引制度がある。このバスも施設の一つとしてみれば、高齢者には割引制度があってもいいのではないか。また、現在中学生は大人扱いはなっているが、義務教育の中学生までは、子供として変更できないか。

**町長** コミュニティバスは路線バスと同様に、道路運送法に基づく乗り合い交通なので、JRの運賃、民間路線バスの運賃に準じて決められているが、今後高齢者の外出支援、あるいは子育て支援、定住化促進等の政策観点から、割引制度の導入及び運賃変更が可能と考えられるので、地域公共交通会議に諮って検討したいと思う。

★その他に、次の項目も一般質問しました。

## 学校給食の無料化について

# 全員協議会

## 第5次美浜町総合振興計画

みんなで作る 創り 絆  
集う 美し美浜

「総合振興計画」は、本格的な地方分権時代を迎えるなかで自治体の「最上位計画」になります。本町では第4次美浜町総合振興計画が平成27年度で終了することから、第5次振興計画の策定が行われており、平成27年11月30日にその答申が出され、議会でも承認しました。

基本構想では平成28年から平成37年までの10年間、基本計画については5年間ごと、実施計画では3年間ごとに見直しが行われ、より実情に合った施策が出来るように配慮されています。

## 基本構想

**創** 活力ある「ひと」を育て、人材をつくり、地域をつくり、活気あふれるまちづくりをめざします。

## 絆

「ひと」がつながり、地域がつながることによって絆が深まり、地域伝統・文化・自然を次の世代へとつなげるまちづくりをめざします。

## 集

さまざまな交流・体験を通じて、人々が出会い、交流が生まれ、輪を広げ「ひと」が集えるにぎわいのあるまちづくりをめざします。

## まちの将来像

平成37年の本町の人口は約89000人と推定されています。このため、子育て世代に対する充実支援による出生率の増加促進、住環境整備による人口流出の抑制や流入の増加とともに、観光事業者を始め、農林漁業・商工業関係者、住民、行政が多様な分野と連携を図っていくことにより、10年後の目指すべき定住・交流人口を設定しました。

2025年は、定住人口94000人、交流人口135万人、活動人口6万人を目指します。これからはそれに向けての諸施策が行われていきます。

(松田記)



第5次美浜町総合振興計画答申

# 各委員会 視察研修報告

## 【産業厚生常任委員会】

### 小浜市、大規模園芸施設2箇所を視察

産業厚生常任委員会の委員は美浜町農業基本計画推進の一環として10月20日、小浜市の大規模園芸施設を研修しました。

#### (1) 株式会社レッドスマイル

30代の若手経営者が大玉トマト栽培を手がけ、健闘しており、自然光を利用した鉄骨大型ハウス5棟を利用して、越冬型、越夏型の大型トマトを年間1700トン生産しています。嶺南振興局農業経営支援部の支援とJA若狭の販売力が大きなバックとなっています。

#### (2) 木田屋商店

関東に拠点を置く事業者が新たにアグリビジネスの事業を展開、嶺南の安



視察の様子

## 視察研修報告

い電気代をしかも夜間利用してリーフレタス等の水耕栽培を実施している。流通経路は自社独自の経路を持ち、有名百貨店、大型地域スーパーに供給しています。

美浜町でも計画している野菜工場(ノーマン)に技術指導も決定しており、期待されます。(浜野記)

## 【総務文教常任委員会】

### 公民館活動と学校教育の実情を視察

10月27日と28日に、総務文教常任委員会では、丸岡の「日本一短い手紙の館」と石川県の「中能登町役場」を視察研修しました。

#### (1) 日本一短い手紙の館

今年8月末に完成したばかりの会館で、最新のデジタル映像システムの展示方法は目を見張る物でありました。反面、地元の木の文化を随所に取り入れ、暖かくお客様を迎えるアイデアを見ることも出来ました。

#### (2) 中能登町役場(公民館)

中能登町の公民館活動では、組織としては中央管理体制をしき、傘下にある62区の自治公民館が自主的な活動を展開しています。学校教育では、小6、中3の学力判定では近年、県内上位にランクされ、「夢に向かって果敢にチャレンジ」を目標に掲げています。この

町は志賀原発に近いが、原子力やそれに関する特別な授業は行っていないとの事なので、美浜のエネルギー環境教育体験施設のPRを行ってきました。(辻井記)



中能登中学校

## 【原子力特別委員会】

### 九州電力川内発電所視察研修

平成27年11月12・13日に、全国で一番最初に再稼働になった、九州電力川内発電所へ視察研修に行きました。

1日目は、薩摩川内市役所を訪れ、川内発電所の再稼働について等、意見交換を行いました。質問内容は、原子力に関する事や行政運営に関する事等がありました。その中で薩摩川内市議会議長が、議会が再稼働に向けて許可するまでの道程は、大変険しいものであったが、電力会社の取り組む姿勢が規制庁の指示に細部にわたり迅速に対応してきたこと。また電力会社と自治体と議会が一つになって取り組んだこ

とが、再稼働できた要因であると説明されていました。

2日目は、川内発電所を訪れ施設見学と意見交換を行いました。発電所では発電所の概要についてと安全対策の実施状況について詳しく説明を頂きました。

その後、発電所現場内の大容量空冷式発電機の遠隔起動化施設や屋外タンク巻対策施設など9ヶ所を見学しました。各施設には、地面に分厚い鉄板を敷きその上にはチェーンが付けられ動かないように固定してあった地震対策や、発電所内が混雑してなくて何もかもがわかりやすい施設であったことが目につきました。これが再稼働運動に向けての作業であるのが良くわかりました。1泊2日の薩摩川内市までの研修視察は、現地滞在の時間が少なかったのですが、大変有意義な研修でありました。美浜3号機も再稼働を目指していることから、この視察研修内容を生かして活動して行きたいと思えます。(川畑記)



川内原子力発電所視察

## 原子力災害時避難場所を視察（大野市）

今回の現地視察は、原子力災害時避難施設である福井県大野市内の避難先施設の現地視察と大野市議会との意見交換会を実施しました。

平成23年3月に東日本大震災に起因して発生した東京電力福島第一発電所事故では、放射性物質が環境中に放出されると共に広範囲にわたり多くの住民が避難する深刻な事態となりました。その事故の教訓を踏まえ、国の原子力防災基本法に基づき、平成25年8



原子力災害時避難場所である大野市を視察



視察の様子

月に美浜町地域防災計画（原子力災害対策計画）の大幅な見直しを行いました。それに伴い、県や関係市町等と協議を進め、万が一に備え町内集落ごとの避難先までの避難ルートと大野市の避難施設が決定されているので、その施設16箇所を視察しました。

また、大野市役所の視察と議会の活性化に向けての取り組み等についても意見交換しました。

（梅津記）

## 敦賀美浜地域開発協議会 視察研修

「回遊性・滞在性のあるまちづくりの取組について」、敦賀美浜地域開発協議会の視察研修が11月26日に行われました。視察研修先は勝山市役所、福井県立恐竜博物館、ゆめおーれ勝山です。

2007年アメリカ経済紙「フォーブス」の中で「世界で9番目にクリーンなまち」として評価された勝山市は、エネルギー政策やエコ対策・活動を通して、行政と市民が一体となって「エコミュージアム都市」を目指し、都市環境の整備や環境教育に積極的に取り組み、ユネスコのエコパーク・ジオパークのダブル指定をうけています。

また、日本で恐竜の化石が最も多く発掘されている「恐竜のメッカ」とし

て県立恐竜博物館には年間60万もの人が訪れています。旧市街地は、城下町の歴史や繊維産業で栄えた魅力的な伝統的町並みがみられます。

エコミュージアム都市勝山の景観整備や恐竜博物館へ訪れる観光客の旧市街地への誘客などの問題については、道の駅（九頭竜川）、観光交流センター（恐竜博物館）、花月楼（ゆめおーれ勝山）の3つのエリアを軸に回遊性のある観光と市内食事処・宿泊施設を結び付け滞在性のあるまちづくりを進めています。

今回の視察研修で学んだことは、美浜町の魅力的な観光資源にも活かせると考えています。

（河本記）



ゆめおーれ勝山



勝山市役所



恐竜博物館

## 美浜・若狭町議会振興協議会

毎年、美浜町・若狭町議会で共通した課題について研修会や意見交換を行い両町の振興を図っています。

今回の研修は

- ① 舞鶴若狭自動車道全線開通の現状及び4車線化に向けての今後の取り組みについて
- ② 舞鶴若狭自動車道全線開通後の観光客誘客の現状と今後の取り組みについて

両町議員からは、通行台数が基準以下でも4車線化できる方法を考えてほしい。沿線市町の一体化や連携をどう考えるのか。商工観光ビジョンは出来ているのか。日帰り客が増え宿泊客が減っているのか。1日遊べる施設を見つけて行く必要がある。熊川宿に来た客を三方地域や美浜町方面に取込む方法を考えないといけないなどといった多くの意見が出されました。(松田記)



美浜若狭町議会振興協議会

## 若狭地方町村議会議員交歓球技大会

平成27年10月31日午後2時から高浜町の高浜小学校グラウンドにおいて、若狭地方4町の議会議員と、議会事務局、嶺南振興局等、総勢65名が、グランドゴルフに汗を流しました。会場は、16ホールのコースで行われ、美浜町からは、議員及び事務局から合わせて15名が参加しました。美浜町の成績は、個人では2位に入り健闘しましたが、団体総合優勝は、若狭町になりました。嶺南地域の町議会議員が一同に集まり、交流と親睦を図ることができ、またひと時の健康増進体験が出来たことは、今後の励みになりました。(川畑記)



若狭地方町村議会交歓球技大会開会式

## 町民レガッタ

第28回町民レガッタが10月17日と18日に久々子湖で開催されました。今回は過去最多の282クルーが出場する大会となり、美浜町議会も交流議会議員の部で2クルーが参加し「水晶浜」が優勝、「三方五湖」が3位に輝きました。今年は敦賀市議会から、新人若手のクルーの参加もあり、初めてのレガッタには疲れた様子でした。

今年全国大会のあった石川県の津幡町からの津幡議会チームは、堂々の2位に輝きました。今後もレガッタを通して議会としての交流の輪を広げたいと思います。(辻井記)



町民レガッタ

## 編集後記

光陰矢の如しと言う様に、あつという間の一年でした。今年で議員活動も3年目を迎えることとなり、より一層充実した日々を送りたいと思います。

昨年は、戦後70年の年でした。戦争経験をした人も高齢者になりました。遠い昔の話に聞こえますが、二度と戦争を起さず平和が一番と云われます。戦争を知らない私達でも大切にしたい言葉です。

世界の国々では、今も紛争が絶えません。平和な日本が戦争に巻き込まれないようにはなっています。もつと戦争経験者の言葉に耳を傾け、平和が続くことを考えていきたいです。(川畑記)

## 美浜町議会 広報特別委員会

- 【委員長】 辻井 雅之
- 【副委員長】 川畑 忠之
- 【委員】 梅津 隆久
- 崎元 良栄
- 藤本 悟
- 松田 づめ
- 飯田 豊